児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R6年2月15日

事業所名：放課後デイサービス桜の木

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	規定基準に基づいて、指導訓練室等のスペースを確保しています。しかし、学年の大きいお子様が多かったり、車椅子のお子様がおられる日はスペースの確保が難しく狭く感じる。全ての活動が同じスペースで行われていることも気になっている。	はい・・29名、いいえ・・1名、 わからない・・3名	天井も高く、十分なスペースはあるが、利用人数が多い際は狭く感じる時もあります。子ども達のその時の状況に合わせて、密にならないようカーテンでの仕切り、個室の利用等、有効活用できるよう工夫して過ごす様に配慮していきたいと思います。
	2	職員の適切な配置	指定基準以上を満たした職員を配置しているが、送迎の時間帯は指導室の職員が不足することもある。日によって職員数が少なく人手が足りないと感じることもある。	はい・・32名、わからない・・1名	保育士、教員免許、介護福祉士、自閉症スペクトラム支援士など様々な資格を有した職員が勤務しています。 また全ての職員が子ども達の発達段階ごとの障害の特性などの研修受講により知識・技術の向上に努めています。送迎時間帯の職員数の不足は課題となっている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関から室内までの段差がない為、車椅子利用者等の安心安全に配慮出来ている。ワンフロアーで分かり易い構造になっており、バリアフリーが出来ている。トイレは狭いので車椅子での介助のしにくさが問題となっている。全介助は難しい。	はい・・31名、いいえ・・1名、 わからない・・1名	室内は全てバリアフリーとなっており、お手洗い内にも手すりを設置。車椅子の方、歩行が困難な方にも過ごしやすい空間となっていますがトイレの狭さが介助時の問題となっている。指導訓練室内は事故防止の為、手すりの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	玄関から部屋全体を見通せる造りになっており、開放感がある。毎日子ども達が退所後掃除、消毒を行い、感染対策もしている。季節に合わせてラグを使用し、こちらも毎日消毒を行っている。清掃についてはマニュアル化し全職員が周知しています。	はい・・31名、わからない・・2名	今後も感染対策に努め、子ども達がストレスなく、安心して過ごせる生活空間の確保に努めていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	利用者様、受け入れ開始前のミーティングで前日の様子や、本日の動きなどを共有している。引き継ぎノートで前日以外の様子も共有出来ている。		今後も日々、目標設定と振り替えを行い、ミーティングで話し合われた改善事項等は職員の共通理解を図る為に記録し、全職員は共有する様に務めていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、第三者による外部評価は行っておりません。		今後の課題として検討致します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内の研修機会を積極的に設け、日程を年間で組み、予定に沿って行っている。新人研修も行い職員の資質向上を図っています。		従来から在籍している職員は元より、新しい職員に対しては基礎から学んでいける様に内容を細分化して時間を掛けて行いました。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回の懇談でお子様の様子を詳しくお聞かせ頂いています。個別支援計画とその評価に基づいた問題点等をお話する事でニーズに合った課題を洗い出し、目標を見直し、設定をしています。	はい・・33名	今年度はコロナの感染者数も減少を辿っていたため、懇談会では対面でお話しをさせて頂いたり、電話での懇談も行い、ほとんどの方とお子様の現状や成長、課題についてお話しをすることができました。その内容に応じた計画書の作成を行いました。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	お子様の現状の状況に合わせて、特性を踏まえた個々の課題、社会性などの集団での課題を組み合わせ、個別支援計画を作成しております。	はい・・33名	お子様の日々の成長や環境変化により個別、集団での目標内容が変化していくことが多いため、今後もそれぞれの状況に合わせた計画を作成していきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子様達、1人1人の発達支援計画を熟考の上記載し、全職員の共通理解を図り、同じ方向で療育を行いました。	はい・・33名	懇談で伺った現在のお子様の様子から、課題の背景にある状況を探り、その上で日々のお子様の様子から見える課題を職員で洗い出し、具体的に支援方法を検討し作成しています。支援の具体的な方法をもう少し保護者様に提示させて頂く事を検討します。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育に当たる全職員がサービス計画に沿った支援を実施しております。日々の保護者様との連絡帳でのやりとりの中からその都度話し合い支援を考えております。	はい・・33名	今後も保護者様の意向を伺い、お子様の様子を見ながら成長や環境の変化に柔軟に対応していくことにより一層努め、丁寧にわかりやすく療育、支援していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当職員がプログラムを立案し、療育に関わる全職員にプログラムの内容、個別の狙い、アプローチの仕方を説明し、役割分担等も打ち合わせをしています。正職員が立案しているため、時間的に他の職員からの意見の取り入れが難しい所である。		実際にプログラムをした後で携わった職員に子ども達の活動内容を聞き取り、改善点等を話し合い、個々の支援に繋がるようなプログラムを立案していけるように努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校がある平日、土曜日、長期休暇に応じたプログラムを立案しています。土曜日や長期休暇では普段の時間内では出来ない内容の支援を個々の発達段階に合わせて課題を設定し、細やかな支援が出来るよう努めています。体調管理においても細かく観察・記録をしています。		平日は限られた短い時間の中でのスケジュールや支援方法を組み立て、最善の方法を検討して行きます。今後も学校がある平日、土曜日、長期休暇とそれぞれに応じたきめ細やかな支援を行っていけるように努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じプログラムでも内容を変えたり、個々に応じた内容を提供をするなど、お子様が飽きないように楽しく取り組める内容を提供しています。新しい教材を取り入れたりして、固定化しないようにしています。	はい・・31名、どちらともいえない・・2名	子ども達から発展した遊びをプログラムに入れたりと、これからも楽しく過ごせるよう活動の幅を広げられるように工夫して続けていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	お子様が来所する前にミーティングを行い、子ども達の様子を情報共有しております。また、その日の支援内容や役割などについても確認を行っています。		短縮授業、土曜日、長期休暇除いて毎日ミーティングを行い、子ども達の様子を職員間で情報共有しています。ミーティングが行えない期間に関しては引き継ぎファイルを作成し、全職員が子ども達の様子や本日の内容を確認し情報共有出来るように徹底していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、お子様の様子で気になった点、送迎中の様子、送り時の保護者からの要望等、管理責任者に報告してから終業するようにしています。翌日のミーティングで職員間での協議や共有化をしています。		送迎時間等の関係で全職員による打ち合わせは困難な為、その日にあった事をケース記録に記入したり、管理責任者に報告し、緊急事案を除いては翌日に話し合いするように努めていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後、その日の支援内容をケースに記録しています。支援に関して翌日のミーティングで取り上げ、全職員で支援の検証をし、改善策を練り、共通理解の元、連携して支援に当たっています。		引き続き、当日の様子等を前日出勤していない職員に引き継ぎ、漏れがないようにしっかりと記録し、振り返りを行う事で、よりよい支援が行えるよう続けていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	管理責任者が担当の相談支援員と連絡を取ったり、実際にお子様の様子を見て頂きながらモニタリングを行い、1度の保護者様との懇談で計画の見直しを行い、新たな計画を立案しています。		半年に1度にとらわれず、環境やお子様の様子が大きく変わった場合などは、その都度話し合いを持ち、計画を見直していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議には管理責任者が出席し、対象児童についての話し合いを行っています。また、会議に参加するに当たり指導員と意見交換を行ってから出席するようにしています。		サービス担当者会議には児童発達管理責任者が出席するようにしていますが、16時頃が多く、室内に子ども達がたくさん利用している状態で直接支援を行う児童指導員が抜ける事は子ども達の安全が確保出来ないため、児童指導員の出席は難しい現状です。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子様は受け入れておりませんが、重症心身障害のあるお子様は受け入れております。学校とはお迎え時にやりとりを行い、連携した支援を実施しております。研修を受講し受け入れ体勢は出来ています。		今後も関係機関との連携に務めていきます
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子様は受け入れておりませんが、重症心身障害のあるお子様は受け入れております。主治医や協力医療機関等との連絡体制の設備は保護者の方と相談員が間に入って情報を共有しております。		保護者の方からご要望がございましたら、お子様の主治医や協力医療機関等と直接連絡をとり、連絡体制の整備を実施していきたいと思っております。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度はコロナ感染に最新の注意を払いながら、小学校でカンファレンスを行ったり、相談支援員と連携を取り、お子様についての情報共有を行い、問題点や課題に関してはカンファレンスを行い、支援方法を確認しました。		就学前の園等との情報共有を行うことは出来ていないため、今後はスムーズに移行が出来る様に連携を取って行きたいと思っています。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、最年長が高校1年生となっておりますので、現在卒業を予定されている方はいません。		今後、学校から卒業し、福祉サービス等への移行となった場合はこれまでの支援内容等を伝達し情報共有していきたいと思います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	管理責任者が各関係機関と連携を取り合い、連携出来ておりこれまで主催する研修にも参加させて頂いております。しかし、今年度もコロナ渦の影響で実施されませんでした。		今後も連携し、研修が実施されるようになりましたら積極的に参加していきます。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在まで児童クラブや児童館との交流はありません	はい・・9名、いいえ・・6名、わからない15名 どちらともいえない・・3名	平日は時間帯的にも難しいです。土曜日や長期休暇を利用して、障害のないお子様との交流の機会がつくれないものか今後、検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	毎年、夏祭りを開催し、地域住民に案内を配布して交流を図っておりますが、今年度もコロナ渦の影響で自粛したため実施出来ませんでした。		開催出来る状況になりましたら実施し、地域に開かれた事業所を目指していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	ご利用契約時に契約者を交わし、重要事項説明書に沿って説明し、変更がございましたらその都度説明させて頂いております。	はい・・32名、どちらともいえない・・1名	今後もその都度、変更や問い合わせがあればご説明させて頂きます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年に1度懇談でお子様の課題を洗い出し、ご要望に沿ったサービス計画を作成します。ご確認後、問題がなければ署名をして頂いています。	はい・・33名	今後もご家庭との連携を図れるよう、お子様の成長、自立に向けて支援内容の丁寧な説明に努めて参ります
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	懇談や電話などで相談、助言等をさせて頂いています。今年度もコロナ渦の影響でペアレントトレーニングは行っておりません。	はい・・16名、いいえ・・3名 わからない・・11名 どちらともいえない・・3名	今後行っていけるよう検討します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳でのやり取りや送迎時に直接お話をさせて頂いています。内容によってはお子様の送迎前に電話でお伝えしています。	はい・・33名	お子様の自尊心を守るため、ご本人の目に触れたり耳に入ることの無いように配慮し、課題を保護者様にお伝えします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	年2回、懇談を実施しています。また、日々の連絡帳やメールやお電話などでもお子様に対するご相談を常時お受けしています。	はい・・33名	引き続き保護者様の気持ちに寄り添い、必要であれば学校や各関係機関に迅速に繋いでいきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度もコロナ渦の為、保護者懇親会は開催出来ませんでした。		開催出来る状況になりましたら実施していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	普段は連絡帳、送迎時、電話、メール等や懇談でご意見や苦情を伺っております。翌日ミーティングにかけ対策、改善に早急に取りかかります。苦情の内容、改善策は全職員で共通理解を図っております。	はい・・23名、わからない・・9名 どちらともいえない・・1名	苦情の無いよう努力すると共に、その対応に関して速やかにかつ適切に行い、改善に繋げるように努めて参ります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の連絡帳やプリント、電話、メール等で保護者様との意思疎通、情報での伝達に努めています。お子様には口頭での説明や掲示物、板書等の口情報で繰り返し伝えたり、視覚支援も使用してわかりやすく伝えるよう心掛けています。	はい・・31名、わからない・・2名	引き続き、それぞれのお子様の特性や保護者様に配慮し、気持ちに寄り添った事業所であるように意思疎通や情報伝達を行っていきたいと思います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月中旬にプログラムを配布して行事予定をお知らせしております。また行事ごとに詳細を配布し、活動概要をお伝えしております。一週間に一度のブログ更新を心掛け、子ども達の日々の様子をお伝えできるように努めています。	はい・・27名、いいえ・・2名 わからない・・3名、どちらともいえない・・1名	より細やかな情報提供が出来る様、配布プログラム、プリントを工夫していきます。ブログ配信にも務めて参ります
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ケース記録に個人情報をまとめ、鍵の掛かる保管庫で管理しています。全職員に守秘義務を徹底しております。個人の配布物に関しては送迎時に直接手渡し、もしくは連絡袋にて配布、誤配のないようにチェックを徹底しております。	はい・・31名、わからない・・1名 どちらともいえない・・1名	今後も全職員が守秘義務を徹底し、写真の掲載に関しても個人が特定されることのないよう写真を加工するなどして個人情報の保護を徹底していきます。配布物の誤配がないように複数の目でチェックしていきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成しております。緊急時マニュアルは毎年4月に配布しております。感染症マニュアルはコロナ渦の影響もあり、日々変わっている為、その都度お手紙で配布しております。	はい・・33名	マニュアルの作成、職員への周知は行っていますが、保護者様への周知に関しては不十分な面もあるので、必要性があればその都度、改訂し、保護者様への周知に努めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年間4回、火災、地震、津波を想定して視覚・聴覚にも分かり易い避難訓練を実施しています。多くのお子様に参加して頂けるよう曜日の固定はせずに行っております。紙芝居を使用してお子様にわかりやすく、興味を持って頂けるように工夫しています。	はい・・30名、わからない・・2名 どちらともいえない・・1名	職員、子ども達共にいつ来るか分からない災害に備えて、防災意識を高めていけるような訓練を工夫して実施していくよう努めて参ります。長期休暇を利用して、平日避難訓練に参加出来ないお子様に対しても実施していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	厚生労働省発行の障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引きを元に、社内にて研修を行っております。何気ない関わり方について振り返り、それが虐待に当たってないか等考える機会としました。		今後も全職員に虐待防止の研修を実施し、日々の関わり方を検証することで、職員相互で虐待防止意識を高めていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当する児童はいません。		今後も、やむを得ず身体拘束の必要性が生じた場合は当事者や保護者様に事前に十分な説明と了解を得た上でサービス計画に記載します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの確認を行い、医師の診断書コピーやアレルギー検査結果のコピーを頂いております。おやつ提供時やクッキングに使う食材はアレルギーを確認して提供しております。		今後も注意して適切に配慮、対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングでも報告。問題点を解決できるように職員同士で情報共有し検討して改善に繋げます。		今後もヒヤリハットを事業所内で共有し、改善に繋げ、よりよい支援をしていけるように努めて参ります。

放課後等デイサービス評価表【保護者用】

放課後デイサービス桜の木

公表日　R6年2月15日

利用者数３８名・回答数33名 （回答率86%）

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29		1	3	車椅子のため自由に行き来できない。休息の場所がない。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32			1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	31		1	1	トイレが狭く、介助が安全に行われない可能性あり。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31			2	
適切な支援の提供	1	子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	33				
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33				
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	33				
	4	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	31	2			夏休みや冬休みにはクッキングやマクドナルドがありとても助かっています。
	5	児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	3	6	15	
保護者への説明等	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1			
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	33				
	3	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	16	3	3	11	
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33				
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33				

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等（続き）	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	前年度まではコロナウイルス感染防止のため開催出来ませんでしたが、今年度は開催出来るよう準備して参ります。				
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	1		9	
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31			2	
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	27	1	2	3	
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31	1		1	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33				
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	1		2	
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	32	1			いつも楽しみにしています。子どもにとって大好きな場所が増えて嬉しいです。
	2	事業所の支援に満足しているか	32	1			いつも沢山サポートして頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

【チェック項目の欄に関する注釈】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは
この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは
児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは
事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」とは
保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。